指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	2	第１学年	三省堂「CROWN English Expression Ⅰ」 啓林館「Vision Quest English Grammar 47」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 英語表現の授業は、英語を「話す」、「書く」、「聞く」、「読む」という４技能を身につけることを目標にした授業です。まずは、「書くこと」、「読むこと」を基礎事項として学習し、その学習内容をもとに「話すこと」「聞くこと」を中心とした活動を繰り返し練習します。
- 英語の語彙や文法は、実際のコミュニケーションの中でどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。このような意識を持つことで、将来グローバルリーダーに必要な「実践的な英語」の習得につながります。
- 音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに留意し、聞き手にきちんと伝わる音読を心がけましょう。正しい発音やアクセントで音読ができるようになれば、リスニング力及び速読力の向上につながります。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「総合英語」（４単位）及び「英語表現」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
①正確な発音・イントネーションで音読でき、話すときにも意識することができる。 ②簡単なトピックに関して、その場で１分程度具体的な理由を添えてスピーチができる。 ③複雑なトピックに関して、準備したメモを見ながらスピーチできる。 ④他者の意見を聞き、自分の意見を表明し、会話を進めることができる。	総合英語 プレゼンテーション、インタビューテスト、スピーチ 英語表現 スピーチ等	①与えられたトピックに関して、少しの時間の準備でまとまりのある文章を書くことができる。 ②複数の段落で、序論・本論・結論を意識して、論理的な文章を書くことができる。 ③学んだ文法事項を使って英文を書くことができる	総合英語 エッセイや定期考査等 英語表現 小テストや定期考査等	①スピーチや会話（3 分程度）を聞いて、ポイントをつかみながら内容を理解することができる。	総合英語 リスニングテストや定期考査等	①まとまりのある英文を後戻りすることなく、一定時間内に読み、各段落のトピック・サポート・例示・詳細などを抑えながら全体の趣旨を理解することができる。	総合英語 小テストや定期考査等

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	英語表現の能力	英語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元(配当間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson1-4 (18 時間)	学校・友人 スポーツ・クラブ活動 日本文化 環境・リサイクル	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペアワークなどのアクティビティーに積極的に取り組む。		(本単元では設定しない)	
		「英語表現の能力」			
		学習内容のアウトプット（スピーキング・ライティング）を繰り返し、更なる理解を深める。	学習した内容を理解したうえで、実際に使ってみる（スピーキング練習・ライティング)。	自身の言いたいことを積極的に表現し、他の生徒とコミュニケーションをとろうとしている。	ペア活動を観察し、定期的に発表をさせる。
		「英語理解の能力」			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		日本と英語圏の文化的な違いおよび特徴を、言語の違いから知る。	教科書のダイアログから英語の言語的特徴や英語圏の文化を理解する。	(本単元では設定しない)	
Lesson 5-8 (24 時間)	国際協力・国際理解 言語・文化 科学 日本・世界	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ペア活動に取り組み、相手との意見交換を活発に行う。スピーキング力をつけることで、リスニング強化に役立てる。	学習内容をスピーキング練習することで板に付け、英語表現や構文そのものに慣れる。	ペア活動に積極的に取り組み、自身の意見や考えを、英語・日本語どちらでも臆せず言える。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語表現の能力」			
		発音・イントネーションを意識し、より英語らしい音読とスピーキングの力を養う。学習事項を使って英文が書ける。	学習内容をもとに英作文および、自身のオリジナルの例文などを作り、ペアワークで発表する。	(本単元では設定しない)	
		「英語理解の能力」			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景について理解する。	英文やダイアログ文から、英語を使用している人々の日常生活や文化などを学ぶ。	・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、本文の内容を聞き取る際に必要な文化的背景について理解している。	・定期考査のリスニングテストにおいて、文化的背景をもとに、正しく聞き取れているかを判断する。

Lesson 9－10 （13 時間）	産業・技術 人生・生き方	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		まとまった長さの英語を話すこと、自身の意見を発信することに慣れ、臆せず話す態度を身に付ける。	一定時間において、まとまった内容の英語をスピーチする。	決められた題材に対して、自身の考察や意見を一定量の英語で説明できる。	スピーチのテストなど
		「英語表現の能力」			
		学習内容を元に、書くこと、話すことをより迅速かつ正確に行う。	学習内容を理解したうえで、それを使ってより多く話し、書くことができるよう練習をする。	書いたものをまとめ、スピーチの練習をしたうえで発表する。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「英語理解の能力」			
		「言語や文化についての知識・理解」			
		特に歴史や社会問題の題材より、日本と各国との違いを学び、異文化理解の礎とする。	英文を読みながら、その背景にある文化的相違や特徴を理解し、各分野の予備知識として習得する。	英文の内容を読み取る際に必要な文化的背景について理解している。	定期考査において、文化的背景をもとに、正しく読解できているかを判断する。